会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（３）職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回共通基盤整備事業実施委員会 |
| 開催日時 | 令和4年10月3日（月）　13時00分～15時00分 |
| 場所 | リファレンス西新宿大京ビル貸会議室 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾 委　　　員：五十部　昌克、岡村　慎一、谷　昌一、山根　大助（OL）、増子　卓矢(OL)、松田　義弘（OL）、川越　浩　（OL）　　　　　計8名　　　　　　　　請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計9名 |
| 議題等 | 〇今年度予定確認（五十部）(1)自己点検・評価【共通的評価基準モデル2022】普及セミナー(2)第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発(3)第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの検証(4)内部質保証人材育成プログラムの検証及び開発(1)自己点検・評価【共通的評価基準モデル2022】普及セミナー（五十部）・令和4年9月30日(金)に開催した福岡会場の参加者は33名となりました。今後開催するオンラインも80名、東京会場も既に定員の30名を超えたので参加は決め切りとしています。・今後の研修の役割分担等は、手元の資料でご確認ください。・10月7日（金）オンラインセミナー配信方式についての確認事項ですがどのようにしていきましょうか。・zoomアドレス管理と当日の入出管理は飯塚が行いますが、参加人数が80名ほどとなっており、開始間際に一気に入出してくる恐れがあります。このため、共同ホストとして五十部さんに権限を出すことと室内のID管理に岡村さんを指定することにさせてください。（飯塚）・了解。（五十部・岡村）・10月4日（火）に申し込み確定者に「前日に入室URL送信」の案内メール送信を五十部から配信します。また、10月6日（木）に「入室URL」をメールにて送信し加えて、入室時の注意事項も合わせて周知いたします。周知する事項としては、1. 入室時の名前を「申込者氏名\_学校名」を漢字で入力する。
2. 申込者以外の入室は遠慮願う→入室時の名前で入室管理を行う。
3. 入室時はマイクオフ、カメラオン（会議設定画面での初期設定）
4. アンケートはQRコードを終了後にメール送信する。

この様な内容にします。（五十部）・オンライン配信した資料を後日欲しいとお問い合わせがありますがどのようにいたしましょう。（五十部）・特段問題ないと思いますが、念のため演者には確認してください。（岡村）・演者等運営側に入室・接続確認は12:30〜12:45とアナウンスします。（五十部）・演者等運営側は各自の場所から接続、各自PCから画面共有にて説明（カメラオン）ということも連絡します。（五十部）(2)及び(3)第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発／検証（五十部）・簡略化モデル及び運営ガイドラインによる審査・受審の試行及び実施検証については第三者評価機関の協力の下、専門学校を対象とした認証評価の試行及び実施検証を行うこととなっています。・現状として、審査依頼は、私立専門学校等評価研究機構、および　　　　　　　　JAMOTECの2機関とし、受審依頼は3校に協力依頼したいと思います。・審査手順は、書類審査→インターネット審査→現地審査の流れで行きたいと思います。1. 書類審査：受審校から書類提出→認証機関の審査員4名程度による書類審査（約6時間）
2. インターネット審査：学校責任者及び学校運営管理者等を対象として、認証機関の審査員4名によるインターネット審査（約2時間）
3. 現地審査：認証機関の審査員2名が現地訪問し、教員インタビュー及び施設設備審査（約5時間）

ここまでが学校側の審査とします。1. 審査プロセス・審査記録の保管の管理が適切に行われていたかの適正性の評価をする必要があると考えています。適正性の評価は既存認証機関3者が選定する2名の委員による「評価委員会」により、2回程度の委員会による適正性の評価検証を行うこととしたいと思います。日程的にはR4年11月～R5年1月頃を目途とします。

・自己点検・普及セミナーを受講した学校へのアンケート結果を参照して、受審を希望する学校に関しては、打診してみる方法でいかがでしょう。（岡村）・川口先生のところは評価委員会に加わることは少し難しいかもしれません。（高岡）・この件は、第三者評価への橋渡し的な役割と聞いていますので、第三者評価をしたことがない学校が受信すると良いですね。（谷）(4)内部質保証人材育成プログラムの検証及び開発（五十部）・この検証と開発は、まずはキャリア財団が実施している研修モデルに当方の自己点検評価の概念などを加えて再構築したいと考えています。・時間等は、オンライン1回、対面1回、各回前後含め15時間程度のモデルを作りたいと思いっています。講師は、私立専門学校等評価研究機構とJAMOTECの八木さんに相談したいと思います。・対面会場はどこを想定していますか（増子）・キャリア財団が類似の研修を東京で実施することを考えているでしょうから、別の場所がいいですね。（岡村）・福岡は、自己点検についても積極的ですので、相談してみる価値があると思います。（川越） |
| 配布資料 | ・第2回共通基盤整備事業実施委員会 |

以上